

令和4年度の空き家実態調査概要

(1) 住民基本台帳と固定資産税家屋の突合

佐倉市全域において住民票が置かれている地番と固定資産税の課税上の家屋が存在している地番を突合し、不突合の家屋を空き家候補として抽出した。

【突合結果】

課税上の住宅属性家屋数（マンション除く）	約 54,000 戸
住民票との不突合の家屋数	約 4,900 戸

空き家候補率 9.1%

(2) 空き家候補の現地調査

家屋の敷地が複数筆にまたがる場合や店舗、施設、病院等、日常的に使われているが住民票がおかれていない建物が一定数あるため不突合がすべて、空き家というわけではない。そのため、佐倉市内の空き家数を推定するため約4,900戸の空き家候補の中から地区や造成時期を考慮して8地区を選定し、現地調査を行ったところ、空き家率は、概ね4.3%となった。

【調査結果】

空き家率 約 4.3%

空き家戸数 約 2,300 戸と推定します。

※ 平成25年調査

空き家率 約 4.0%

空き家戸数 約 2,100 戸